★★★令和５年度★★

小坪小だより　2月号

横浜市立小坪小学校　　　校長　髙田　桂太郎
横浜市港南区港南台４－１１－１　電話　８３２－０６１７

★★★

「拍手」はコミュニケーション

副校長　　角皆 裕文

平成６年がスタートして早くもひと月が経とうとしています。先月の能登半島地震でご家族を亡くされた多くの方に心を寄せるとともに、依然として厳しい避難生活を送られる方々に一日でも早く日常が戻ることをお祈り申し上げます。

先日は本校４年生の児童とともに、東京バレエ団による公演を観劇してきました。鍛え上げられた肉体が伸びやかに躍動するその美しい姿に、子どもたちと一緒に魅了されてきました。
実は観劇にあたって職員間の事前打ち合わせでは「拍手のタイミング」を子ども達が捉えられるか、ということが話題に上がりました。
「みんな初めてだろうから、上手にできるといいけれど・・。」

いざ蓋を開けて見れば、そんな心配は無用でした。本校の児童を含め、客席を埋めた市内の４年生たちは、踊りの節目や高度な技が披露される場面で自然と大きな拍手を送っていました。その姿は、決して「ここで拍手したほうがいいよね？」という空気を読んだものではなく、純粋に感情の高ぶりを「拍手」という形に表しているように見えました。

子ども達の気持ちのよい拍手を聞いていて、「拍手」という行為について考えてみました。ヒトにとって手を叩くという動作は何を意味するのでしょうか。
テレビ中継でひいきのチームが逆転すれば、一人で見ていても拍手をするでしょう。これは「感情が高ぶるとヒトは手を叩く」という特性が表れているに過ぎません。では相手が目の前にいるとしたらどんな意味が加わるのでしょうか。「あなたのパフォーマンスで私の感情が高ぶりましたよ！」と相手に示すことになります。これは本来、誰かから「～しましょう」といわれるような「作法」や「マナー」ではなく、ヒトにそもそも備わったコミュニケーションの技術であり、相手に対して友好的に関わろうとする本能のような気がするのです。

挨拶にも似たような側面があります。本来ヒトが挨拶をするのは「自分の存在を認めてほしい」「相手と親しくなりたい」という個人的な思いからであって、「～しましょう」と促されるようなものではないはずです。

私たちはつい、子どもの行動を形式的に変容させることを目的にしてしまいがちですが、本来はその“内なる思い”に耳を傾け、耕し、豊かに表出できるよう支援するのが私たちの務めではないでしょうか。子ども達の軽快な手拍子が響くホールの客席でそんなことを考えていました。

2月　行事予定表

日	曜日	行事等	時程	下校時刻 ○の中の数字は授業時数です					
				1年	2年	3年	4年	5年	6年
1	木	校内研究会のため5校時終了後下校	特別	⑤14:30					
2	金	入学説明会		⑤14:30					
3	土								
4	日								
5	月	【5･6年】委員会活動		⑤14:30				⑥15:15	
6	火			⑤14:30		⑥15:15			
7	水			④13:30	⑤14:30				
8	木	【全校】たてわり集会 【1年】赤い屋根保育園と交流		⑤14:30			⑥15:15		
9	金	【個別級】合同学習発表会		⑤14:30					
10	土								
11	日	建国記念の日							
12	月								
13	火	【3～6年】クラブ活動（3年生見学）【個別級】小中ブロック交流会		④13:30		⑥15:15			
14	水			④13:30	⑤14:30				
15	木	※成績処理期間につき5校時終了後下校	特別	⑤14:30					
16	金	学校保健委員会		⑤14:30					
17	土								
18	日								
19	月	※成績処理日	特別	⑤14:30					
20	火	【6年】東京見学　学校運営協議会　※成績処理日	特別	⑤14:30					
21	水	【6年】薬物乱用防止教室		④13:30	⑤14:30				
22	木	【4～6年】クラブ活動		④13:30			⑥15:15		
23	金	天皇誕生日							
24	土								
25	日								
26	月	【5･6年】委員会活動		⑤14:30				⑥15:15	
27	火	※成績処理日	特別	⑤14:30					
28	水			④13:30	⑤14:30				
29	木	【全校】たてわり集会　※成績処理日	特別	⑤14:30					

3月の主な予定

日	曜日	行事等
15	金	給食終了
16	土	【全校】6年生を送る会 【5･6年】卒業証書授与式
22	金	【1～5年】修了式　離退任式
25	月	代休

2月のカウンセラー来校日

2日（金）午前　　21日（水）午後

9日（金）午後　　28日（水）午前

16日（金）午前

教育相談を希望される方は児童支援専任または養護教諭までご連絡ください。（045-832-0617）